

# 循環器内科 臨床研修到達目標（必修）

## 1. 特徴

救急対応は 24 時間 365 日。補助循環が必要な超重症例にも対応している。

安定冠動脈疾患に対しては虚血を証明し方針決定することが予後の改善につながる。この領域においては日本の中でもリーダー的存在である。

慢性心房細動のカテーテルアブレーション、リードレスペースメーカーなど、最先端医療を提供する。

## 2. ねらい

- 1) 心臓病や血管疾患に代表される循環器疾患の診断と治療に関する知識と技術を習得する。
- 2) 急性期循環器疾患に対する緊急検査および救急治療を経験する。
- 3) 慢性期循環器疾患の管理上の要点を習得する。

## 3. 一般目標

### 1) 基本診療法

- (1) 患者、家族との適切なコミュニケーションを得る能力を身に付け、病歴を正確に聴取し整理作成する。
- (2) 循環器疾患における症状、理学的所見を正確に把握し、整理記載する。
- (3) 救急患者においては、患者およびその家族の状況に応じて適切な検査および治療を選択できるようにする。

## 4. 研修方略

研修医一人に対し、指導医一人から二人が全般にわたり研修指導に当たり、基本的な身体所見診察法や基本的な臨床検査法、治療法について研修する。毎週教授回診、症例検討会、カテーテルカンファレンスにおいて症例呈示を行うことにより、担当症例に対する理解と知識を深め、各疾患に対する治療方法を研修する。また、これらを通じて担当症例以外の疾患に対する診療についても研修する。循環器救急疾患や集中治療室管理を要する症例に関しても同様に研修することが出来る。

循環器領域では各種検査が行われており、経胸壁心エコー、核医学検査、運動負荷心電図検査、心臓 MRI および CT、心臓カテーテル検査、電気生理学的検査、経食道心エコー等の検査法を指導医のもとで研修する。治療としては経皮的冠動脈形成術、恒久的ペースメーカー植え込み術を行っており、専門医の指導のもとでこれらの手技について研修することが出来る。

抄読会にて最新の医学論文に関する学術的知見を深め、また、症例検討会にて各種検査法や症例に関する知識を深める。

## 5. 週間スケジュール

科	月	火	水	木	金	土
循環器内科	8:00 カンファレンス 総回診	8:00 カンファレンス	8:00 カンファレンス	8:00 カンファレンス	8:00 カンファレンス	8:00 カンファレンス
					16:30 カンファレンス	

### その他検査

冠動脈造影、心臓電気生理学的検査、負荷心電図、エコー、核医学検査等に関しては研修時に発表する。

## 6. 研修評価

- 1) 自己評価：PG-EPOC を用いて自己評価を行う  
(症候、疾病・病態の経験についてはPG-EPOCにて確認を行う)
- 2) 指導医による評価：PG-EPOC を用いて研修医を評価する  
(症候、疾病・病態の経験についてはPG-EPOCにて確認を行う)
- 3) 研修医による研修体制評価：PG-EPOC を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

## 7. 指導体制

指導責任者 久保 隆史

指導医 山田 聡、岩崎 陽一、嘉澤 脩一郎、大西 将史、北村 美樹

# 循環器内科 臨床研修到達目標（選択）

## 1. 特徴

救急体制は 24 時間 365 日。常に最善の治療を行う体制をとっている。

補助循環（Impella、PCPS、IABP など）を用いた集中治療も充実。

虚血性心臓病、心筋疾患、弁膜症、不整脈疾患の診断から治療（カテーテル治療）まで系統的に体験できる。

## 2. ねらい

- 1) 急性期循環器疾患の初期診断を経験し、その後の治療計画を理解する。
- 2) 慢性循環器疾患の診断計画を理解し、治療・管理上の要点を習得する。
- 3) 稀な循環器疾患に関する知識を習得する。

## 3. 一般目標

- 1) 循環器疾患における症状、理学的所見の正確に把握し、記載する。
- 2) 初期診療に必要な非侵襲的検査（心電図、心エコー図）の知識・技術を習得する。

## 4. 研修方略

研修医に対し、担当指導医が全般にわたり行う指導研修に加え、各種検査ではそれぞれを担当する指導医が個々のレベルに合わせた指導を行う。経胸壁心エコー検査、核医学検査、運動負荷心電図検査、心臓 CT、心臓 MRI、心臓カテーテル検査・治療、電気生理学的検査・アブレーション治療、ペースメーカー植え込み手術などを、専門医の指導のもとで研修することができる。

毎朝のカンファレンス、症例検討会、カテーテルカンファレンスなどにおいて症例提示を行うことにより、担当症例に対する理解と知識を深め、各疾患に対する治療方法を研修する。

※週間スケジュール・研修評価・指導医は必修と同様